

# 複数の開発品による新たなビジネスモデル構築と知財対策

会社名 三和興産株式会社  
 所在地 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字砂割31番地  
 従業員 25名  
 資本金 6,000万円  
 売上高 10億円  
 業種 産業廃棄物処分、産業廃棄物収集運搬(製造業)



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- NEDO事業で開発を進める「燃烧炉」と、岐阜県の補助で開発を進める「バイオマス燃料」について、知財リスクを排除しつつ、それぞれの販売を着実に進めるとともに、両者を組み合わせた新たなビジネスモデルも検討したい。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- ビジネスモデル(製品仕様の方向性やスケジュール)の展望を掴んだとともに、それを実行・実現するための、知財調査、契約、内部規定などに関して備えを進めた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 知財調査やブランディングの活動を含め、具体的なマーケティング活動・営業活動が展開していくことが求められている。また、他社連携や顧客接点が増えるため、情報の取扱いに関して、更に内部体制を充実させていくことが期待される。

## 加速的支援を受けた事業や商材

当社では、アスファルト原料と骨材(砂利や砂)を加熱混合することで、アスファルト合材を製造し、道路舗装業者などへ販売しています。また、自社製造のアスファルト合材を用いて、自社でも道路舗装を行っています。





## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの検討	燃焼炉やバイオマス燃料の技術開発を進めている途中の段階ではあるが、リリース(上市)にむけて、収益モデルを具体化するとともに、それに連動する製品仕様も最適化する必要がある。
知財戦略の構築	今後開発を進めていった際に、成果を特許やノウハウとして保護(オープン&クローズ戦略を実施)する必要がある。
契約の整備	燃焼炉を大学と共同開発しており、成果物について、今後のビジネスモデルに制約をかけない取扱いにできると望ましい。
ブランド戦略の構築と販路開拓	自社としては新たな顧客層に販売をしていく製品・商材であるため、魅力を訴求して販路開拓につなげたい思いがある。
内部体制の整備	技術開発の成果が出そうであり、成果帰属に関するトラブル予防や、開発インセンティブを継続的に高める必要がある。



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客ニーズ、採用すべき技術方式、理想の収益モデルについて、何度も議論を行き来し、ビジネスモデル(製品仕様の方向性やスケジュール)の展望を掴んだ。</li> </ul>	中小企業診断士、弁理士、企業OB、環境ビジネス専門家
知財戦略の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品仕様の方向感を定めることに有用な、他社の技術・権利を調査する方法について、理解を深めた。</li> </ul>	中小企業診断士、弁理士、企業OB、環境ビジネス専門家
契約の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同開発に関連する各種の契約書ひな形を実際に確認しつつ、今後発生が見込まれる契約を念頭に、注意すべき事項について、知識を蓄積した。</li> </ul>	弁理士、中小企業診断士
ブランド戦略の構築と販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>競合が対応できない、未解決の顧客課題(ニーズ、インサイト)を捉えて開発を進めることを意識すると、販路開拓やブランドコンセプト確立に繋がることを理解した。</li> </ul>	中小企業診断士、弁理士、企業OB
内部体制の整備 (職務発明規程の整備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施趣旨、法改正の流れ、規程策定の重要ポイント(協議、開示、意見の聴取)を理解し、規定の運用開始に向けて準備を進めた。</li> </ul>	中小企業診断士、弁理士、企業OB

## 支援チーム紹介

リーダー専門家: 知財経営専門家・吉栖康浩、中小企業診断士・森竜也

活用専門家: 中小企業診断士、弁理士、企業OB、環境ビジネス専門家

知財総合支援窓口担当者: 愛知県知財総合支援窓口 飯島英雄

PO(プログラムオフィサー): 池田清志